

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	修正 使用 結果	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 10998- 11001	アミロイドを含むアミロイドグロブリンにアミロイド促進因子 (AEF)活性があるかを調べた。市販のアミロイドグロブリンから抽出 したアミロイドA蛋白含有フィブリルを、二次性アミロイドー シスを起こすトランスジェニックマウス9匹に静脈内投与し たところ全例で、また経口投与した場合は8匹中5匹でアミ ロイドの組織沈着が認められた。一方、対照群では全く組織 沈着は見られなかった。加熱によりアミロイドグロブリンのAEF活性 は弱まったが、消失しなかった。アミロイドーシスは伝播 性で、プリオン関連疾患の感染性と類似する可能性がある 。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	SEAC/Position Statement 2007年6 月13日	英国保健省はSEACに歯科治療処置を介したvCJD伝播 のリスク概算を目的とした初期研究の知見についての助 言を求めた。初期研究では、歯科処置によるvCJD伝播の リスクが予想より高いことが示唆された。ガイダンスは今 年初め歯科治療用器具の使い捨てを勧告した。公衆衛生 上の影響についてのより綿密な考察と、さらなるリスク減 少手段の特定のため、全ての歯科治療のリスクについて 詳細で包括的な評価を早急に行うことも重要である。
												HIV	Lancet 2007; 369: 621-623	2002年の国連レポートや米国家情報会議は、中国には 約100〜200万人のHIV/AIDS患者がおり、感染爆発の危 機が迫っているとしたが、2006年までの生存患者数は65 万人と見積もられた。感染規模の過大な予測から、中国 では様々な問題が生じた。HIV/AIDS対策に多大な予算を 掛けただけで、喫煙、結核などの健康問題への対策が 十分ではなかった。中国でのHIV/AIDS対策はハイリスク 地域を中心に行うべきである。
												HIV	Lancet 2007; 369: 623-625	2006年末までに台湾CDCに13702名のHIV-1/AIDS感染 者が報告された。2003年以降、HIV-1/AIDS感染生存者 は急増し、台湾のHIV-1/AIDS感染者数は約3万人と推測 され、台湾の感染率(2300万人中3万人、1/767)は中国 (13億人中65万人、1/2000)よりも高い可能性が示された。 リスク要因分析によると、静注薬物使用者の感染率は 2005年には72.4%(2461/3399)であった。また垂直感染は 2006年末までに19例が確定された。